

第92回 個人投資家のための会社説明会

いちよし証券株式会社（証券コード：8624）



2024年2月15日（木）

代表執行役社長

玉田 弘文

第一部：会社概要

会社名	いちよし証券株式会社（証券コード:8624）
	Ichiyoshi Securities Co., Ltd.
創立	1950年8月18日
本社所在地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号
	東京証券会館5階（総合受付）
代表者	取締役（兼）代表執行役社長 玉田 弘文
電話	03-4346-4500（代表）
資本金	145億77百万円（2023年12月末）
純資産	278億52百万円（2023年12月末）
自己資本比率	59.2%（2023年12月末）
従業員数	966名（連結）（2023年12月末）
営業拠点数	52カ店（2024年1月末現在）
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場

いちよしグループ （主な連結子会社）

いちよし経済研究所

いちよしグループのリーサーチ部門として、日本の中小型成長企業に特化した調査を行っています。

いちよしアセットマネジメント

投資信託委託業務のほか、機関投資家、投資信託に対する投資一任・助言業務を展開する資産運用会社です。

いちよしビジネスサービス

主に法人向けビジネスとして、複合代理店業務、保険業務、不動産業務を行っています。

いちよしIFA

IFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）の方々とともに、お客様一人ひとりの将来のプランに合ったお客様の資産形成のアドバイスを行っています。

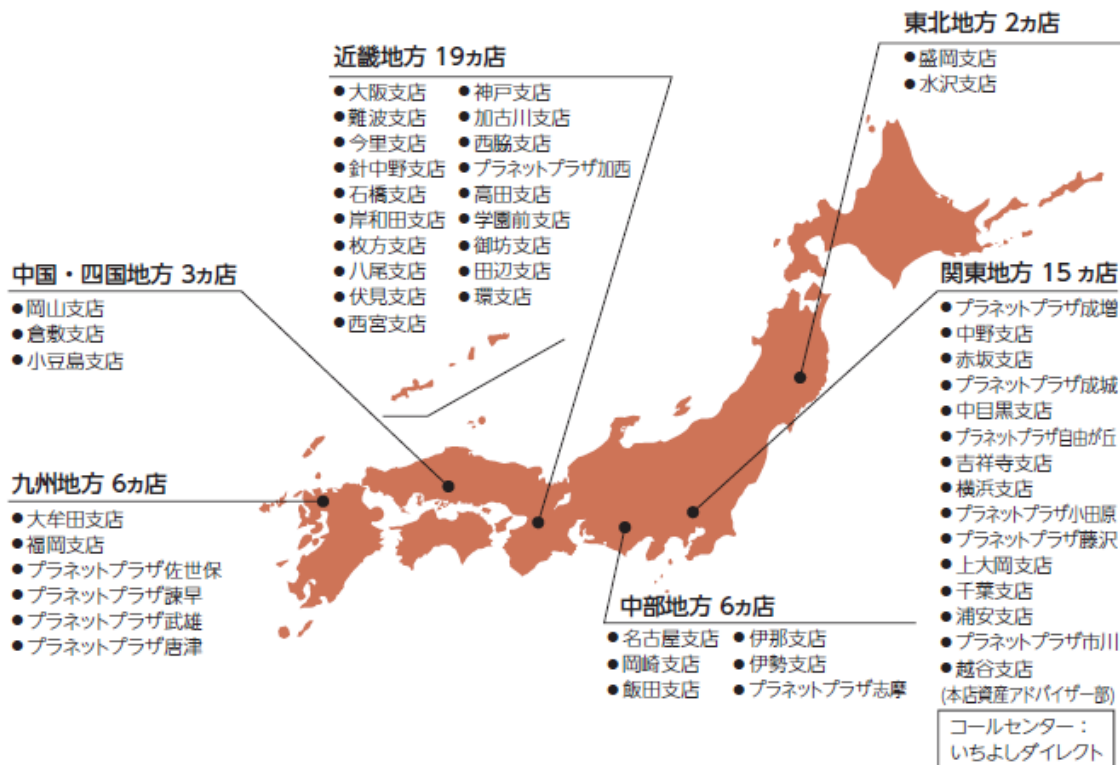
主な対面営業証券会社一覧（プライム上場）

	証券会社名	証券コード	営業収益 (23/3期,億円)	預り資産 (23年9月末,億円)	単体従業員数 (23年9月末,名)	店舗数 (23年9月末)	オンライン取引
大手	野村HD	8604	24,867	1,344,000	15,158	109	○
	大和証券G	8601	8,661	823,849	8,537	183	○
準大手	東海東京FG	8616	734	71,502	2,045	64	○
	岡三証券G	8609	666	75,987	2,504	68	○
中堅 (対面のみ)	いちよし証券	8624	167	20,459	876	52	-
	極東証券	8706	43	4,249	242	9	-
中堅	岩井コスモHD	8707	197	21,512	811	28	○
	丸三証券	8613	149	20,779	1,164	29	○
	アイザワ証券G	8708	128	17,216	820	45	○
	水戸証券	8622	112	12,621	754	26	○
	東洋証券	8614	83	11,747	665	32	○

(出所) 各社公表データよりいちよし証券が作成、対象はネット専業証券除くプライム上場証券会社、営業収益降順、青字は連結ベース
野村HDの従業員数は国内ベース

3. 主要な営業所の状況

本店 東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号 東京証券会館
支店・営業所 51カ店



(2024年1月末現在)

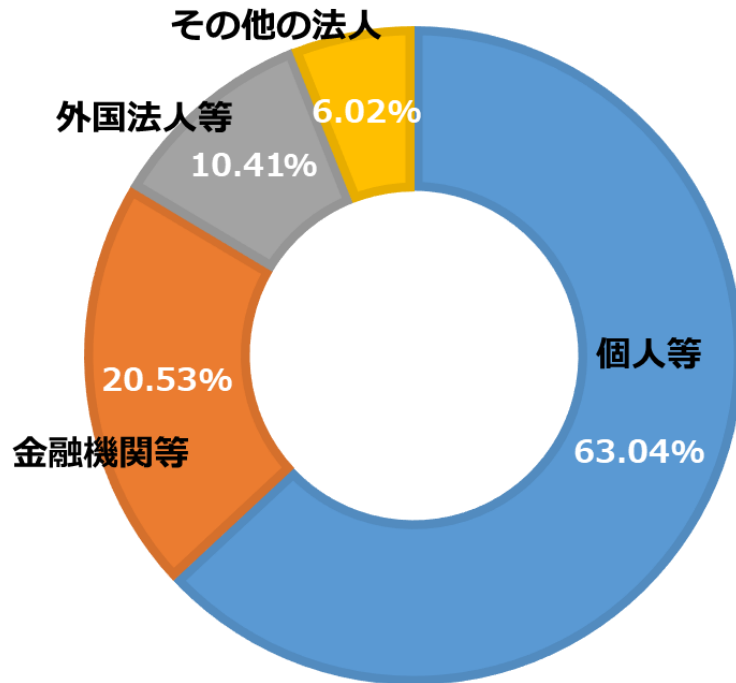


(東京本社)



(大阪支店)

所有者別分布状況（持株比率）



発行可能株式総数 168,159,000株

発行済株式の総数 37,931,386株
(うち自己株式4,131,769株)

当事業年度末の株主数 16,335名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,502	13.33
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,214	3.59
株式会社野村総合研究所	879	2.60
いちよし証券従業員持株会	806	2.38
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	677	2.00
山中 克彦	400	1.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505044	390	1.15
ジャフコ グループ株式会社	300	0.88
JP MORGAN CHASE BANK 385781	266	0.79
平和不動産株式会社	245	0.72

(注) 持株比率は自己株式(6,668,047株)を控除して算出
発行済株式の総数は2023年8月の自己株式消却(2,500,000株)
を反映した2023年9月末のデータ

第二部：経営理念・経営目標

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝 誠実 勇気 迅速 継続

Long Term Good Relation

社員のために

社員の個性を尊重し人材の育成に努める

いちよし精神

情熱をもって、真摯に努力し続けます。

働きがい

チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。

株主のために

持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

株主還元

事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

情報の開示

経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

お客様のために

一人、一人の「いちばん」でありたい

お客様第一

常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスをを行います。

良質なサービス

社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

社会のために

金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

社会的責任

法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

社会貢献

企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

いちよし証券



アドバイザー・ミッションカード

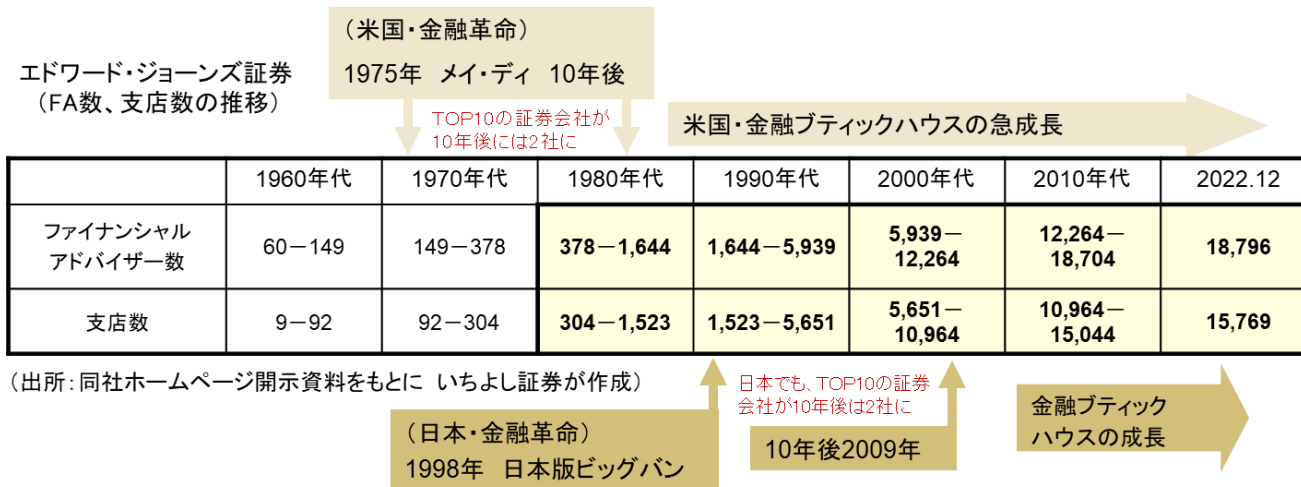


5つのMission

1. 意味のある訪問外交件数の目標「日々5件以上」「週間25件以上」
2. 個々のお客様のお話に徹底的に耳を傾けることから外交は始まる
3. お話をよく聴き、アドバイスを行ない、商品をお勧めすることが外交
4. 日々、外交で得たお客様からの情報を記録し、次の外交に活かす
5. 重要な見込みのお客様には、少なくとも2週間に一度はお会いする

個々のお客様にとって最良なことは、何かを常に考え、そして具体的に実行し、「貯蓄から投資へ」を推進する

米国のブランド・ブティックハウス型証券会社 = いちよしの20数年来のビジネスモデル

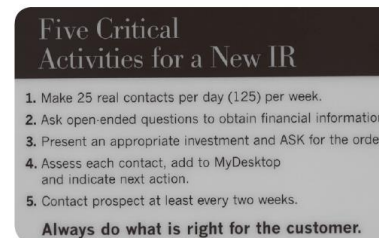


エドワード・ジョーンズ証券の主な特徴

- 一人店舗型 (営業担当1人とスタッフ1人) で地域に密着、店舗数は1.5万店超で全米トップ
- 「対面営業」に特化し、ネット取引は行わない
- 「売らない商品」を明確化、流行りものには手を出不さず、質の高い商品を長期にわたって分散投資する
- 対象顧客は「真剣に長期投資を考えている個人投資家」に限定し、投機的な利潤を求める顧客には「NO」と言う

(主な沿革)

- 1922年 エドワード・D・ジョーンズが米国ミズーリ州セント・ルイスで創業
- 2002年 FORTUNE誌「最も働きやすい会社」ランキングで大手企業中1位、全米2位 (以降もほぼ毎年上位にランクされている)
- 2022年 創業100周年
J.D.パワー「米国ファイナンシャル・アドバイザー満足度」1位



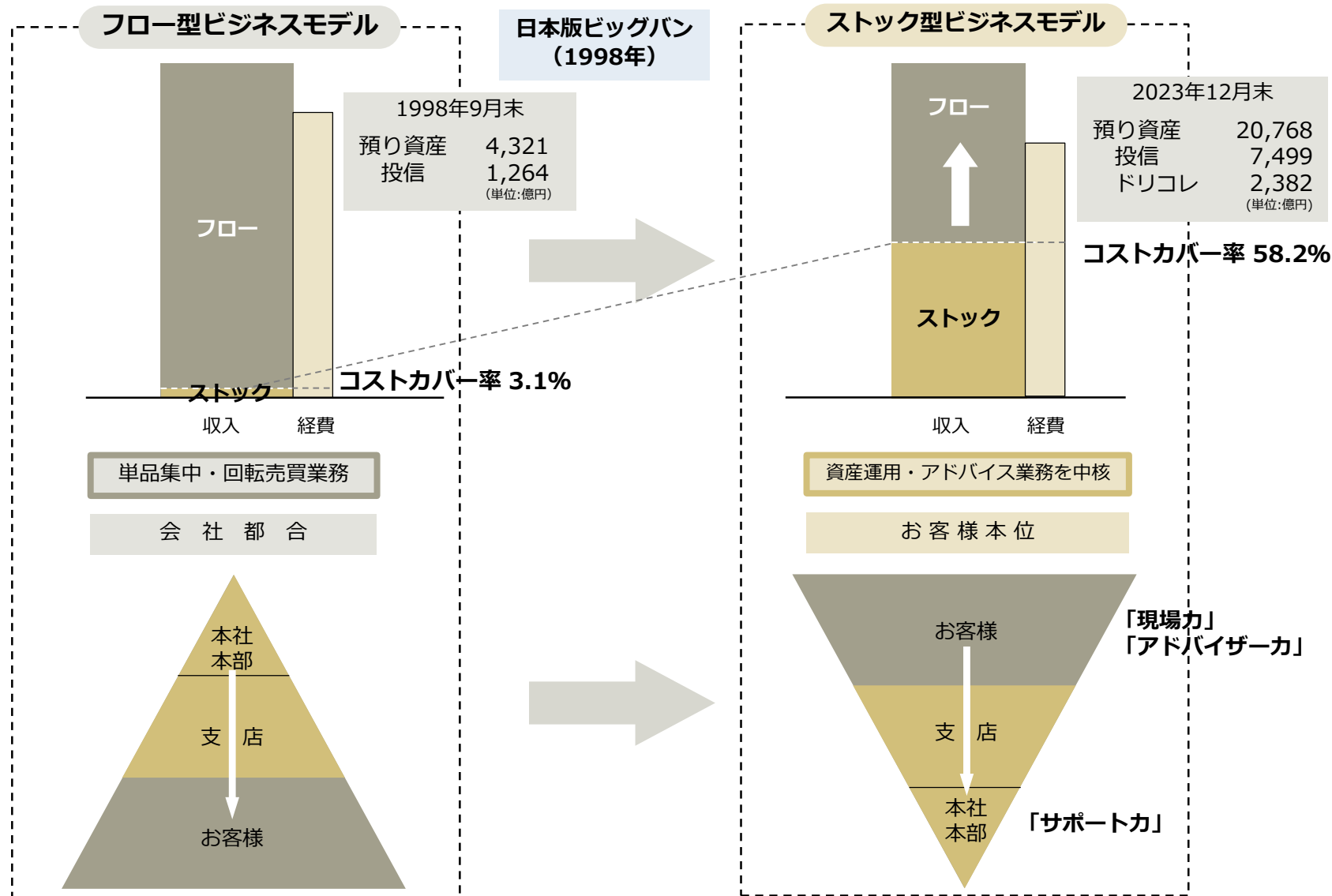
エドワード・ジョーンズのアドバイザーミッションカード

2. 日本版ビッグバンに備えての「改革の断行」

「フロー」のビジネスモデルから「ストック」のビジネスモデルへの転換

第1回「改革の断行」（1998年）

第2回「改革の断行」（2019年～）



第1回「改革の断行」（1998年9月）

- ・「預り資産」を経営の最重要指標に
- ・営業員の名称を「アドバイザー」に変更
- ・株価ボードを廃止
- ・店頭を相談型に（カウンターに間仕切り）
- ・アドバイザーの評価を預り資産純増中心に
- ・コンプライアンスの徹底 — 「コンプライアンス委員会」設置

「フロー型ビジネスモデル」から「ストック型ビジネスモデル」への転換

- ・「7つのいちよし基準」策定
- ・「いちよしのクレド」制定
- ・「売れる商品でも、売らない信念」（お客様のためにやらないこと）を宣言

20年振りの「改革の断行」（2019年10月～）

真の意味での「お客様本位のアドバイス活動」を推進

- ・経営陣の思い切った若返り
- ・「アドバイザー地区本部制」廃止（本社本部目標を廃止、支店主導の目標設定へ）
- ・「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」（お客様のために為すべきこと）を宣言
- ・お客様ご意向確認シート「T-report」導入
- ・本社本部の生産性向上

私たちは、お客様に信頼され、選ばれ続ける証券会社であり続けます

お客様のためにやらないこと



売れる商品でも、
売らない信念。

私たちは、お断りする事があります。
【いちよし基準】＝「法人のお客様向け商品についての原則原則」

- 公募仕組み債は取り扱いしません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いしません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX(外為証拠金取引)は取り扱いしません。

私たちは、この「いちよし基準」を20年来守り続けています。

選ばれ続ける証券会社へ。

■■■ いちよし証券

お客様のために為すべきこと



お客様独自のオーダーを
仕立てる信念。

私たちは、為すべき事があります。

- お客様ひとりひとりに最もふさわしい一着を仕立てあげる「テーラー」のように、いちよし証券は、お客様のオンリーワンのパートナーとして長くお取引いただける会社を目指しています。
- お客様のニーズを十分にお聞きし、お客様のご意向に沿ったポートフォリオをご提案いたします。
- 市場変動やお客様のニーズの変化に応じて、ポートフォリオのアフターフォローに努めます。

選ばれ続ける証券会社へ。

■■■ いちよし証券

第三部：中期経営計画

1. 中期経営計画「3・D」の数値目標

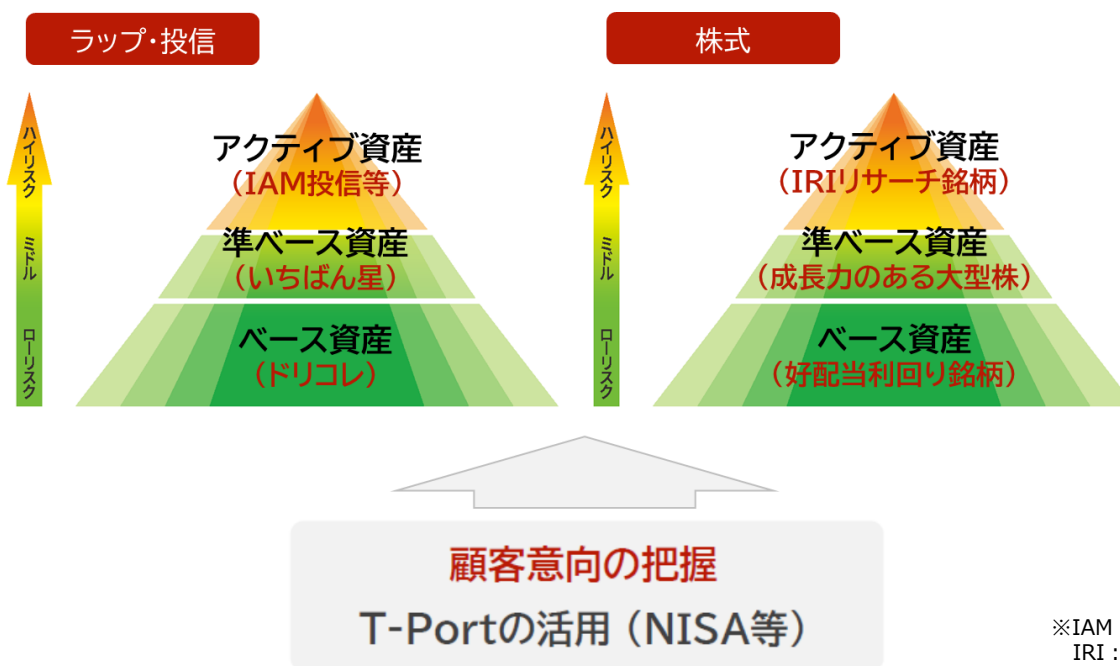
預り資産 3兆円
 コストカバー率 70%
 ROE 10%



※コストカバー率 = (信託報酬 + ラップフィー) / 販売費・一般管理費

2. 計画期間【2023年4月～2026年3月末】の3年間

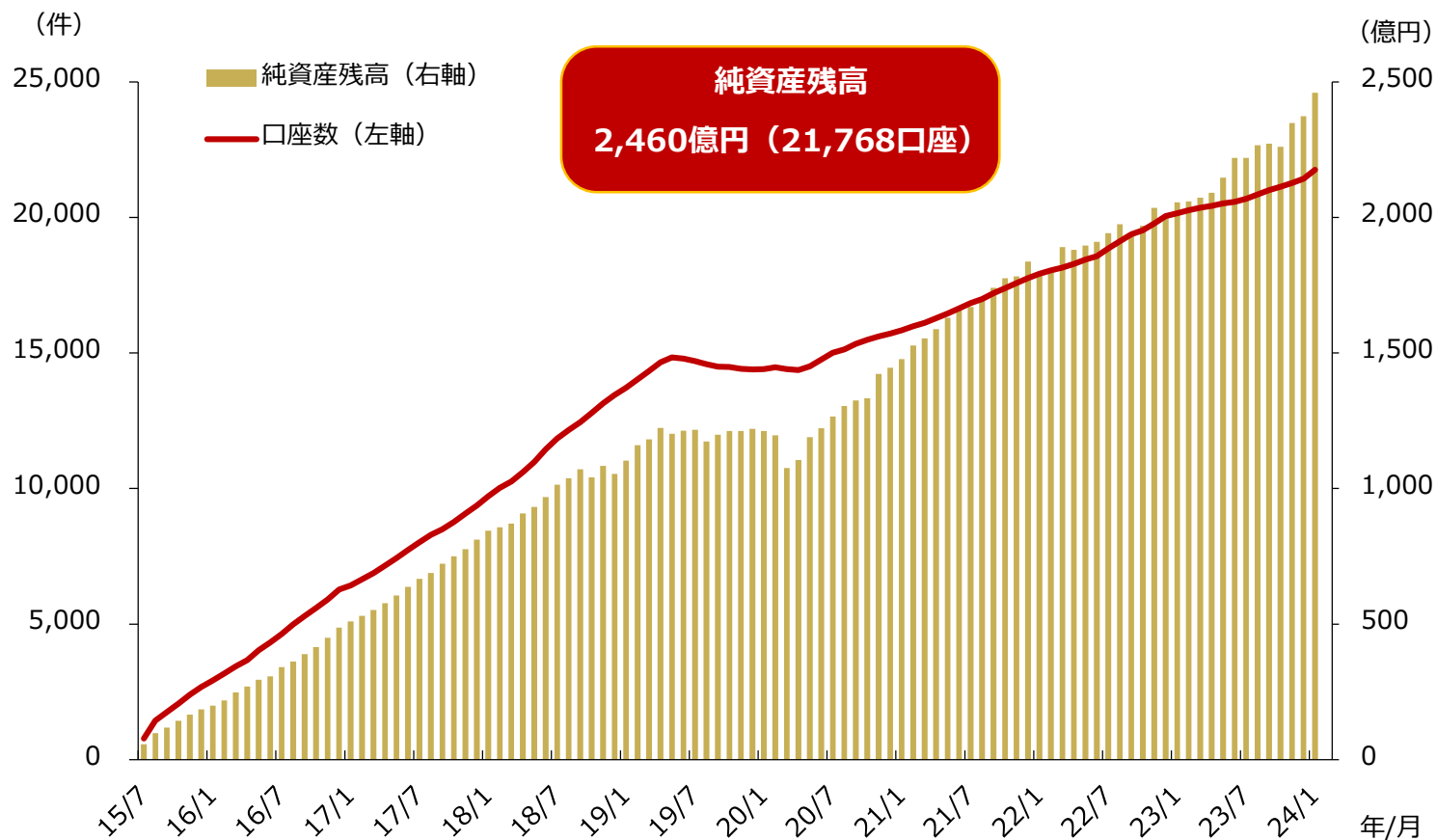
「預り資産」拡大に向けた戦略



※IAM : いちよしアセットマネジメント
 IRI : いちよし経済研究所

- ・ ファンドラップ「ドリーム・コレクション」を「ベース資産」の中核として位置づけ、ポートフォリオでのご提案を通じて預り資産拡大を図ります。
- ・ 2024年1月から新NISA制度に対応した『ドリコレNISA』 & 『ドリコレミニ』を追加。

ドリコレ口座数・残高推移（2024年1月末）



運用資産残高

2,460億円

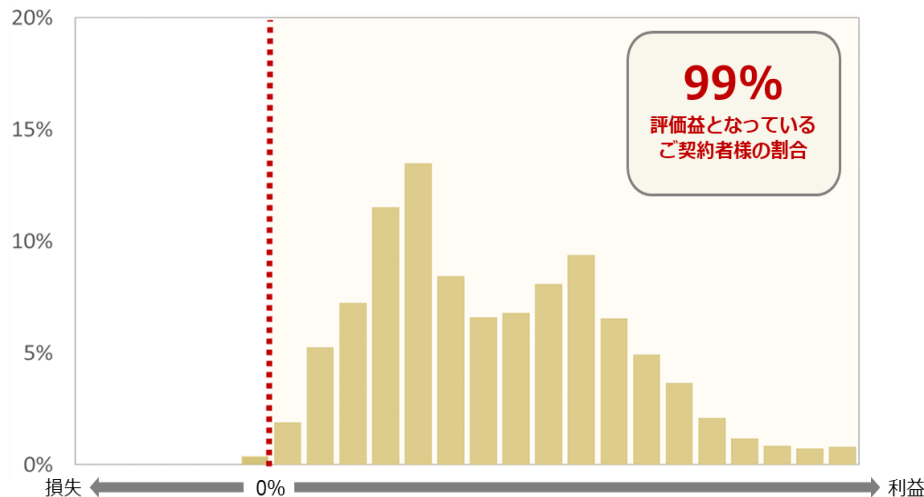
ご契約口座数

21,768口座

※ 2024年1月末

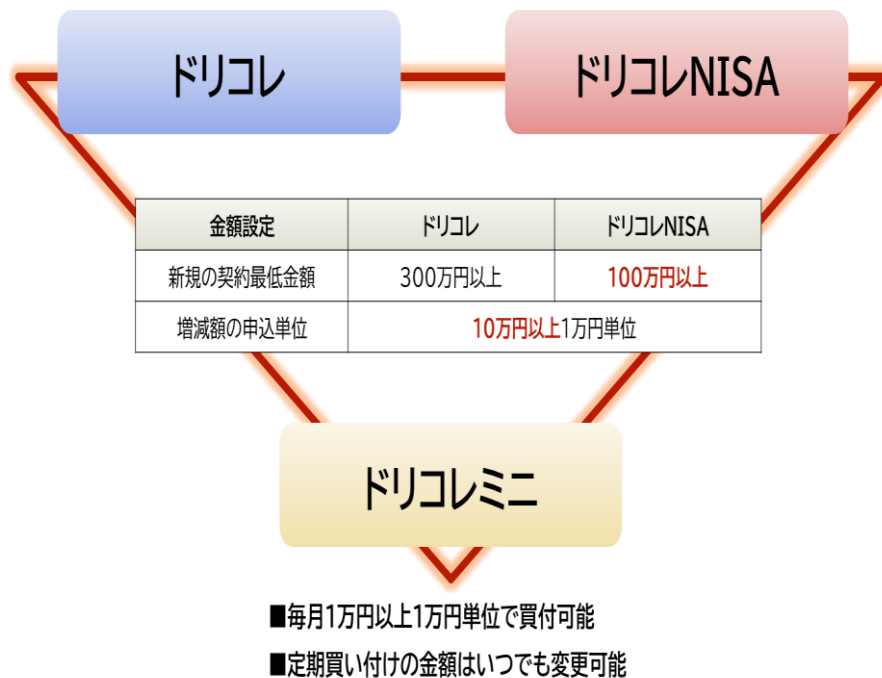
ドリコレ評価損益（時価評価額/投資金額）分布

（ご契約者様比率） ※ 対象は2015年7月1日～2024年1月末に運用開始したご契約者様で減額された方を除く



（注）2024年1月末現在。上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

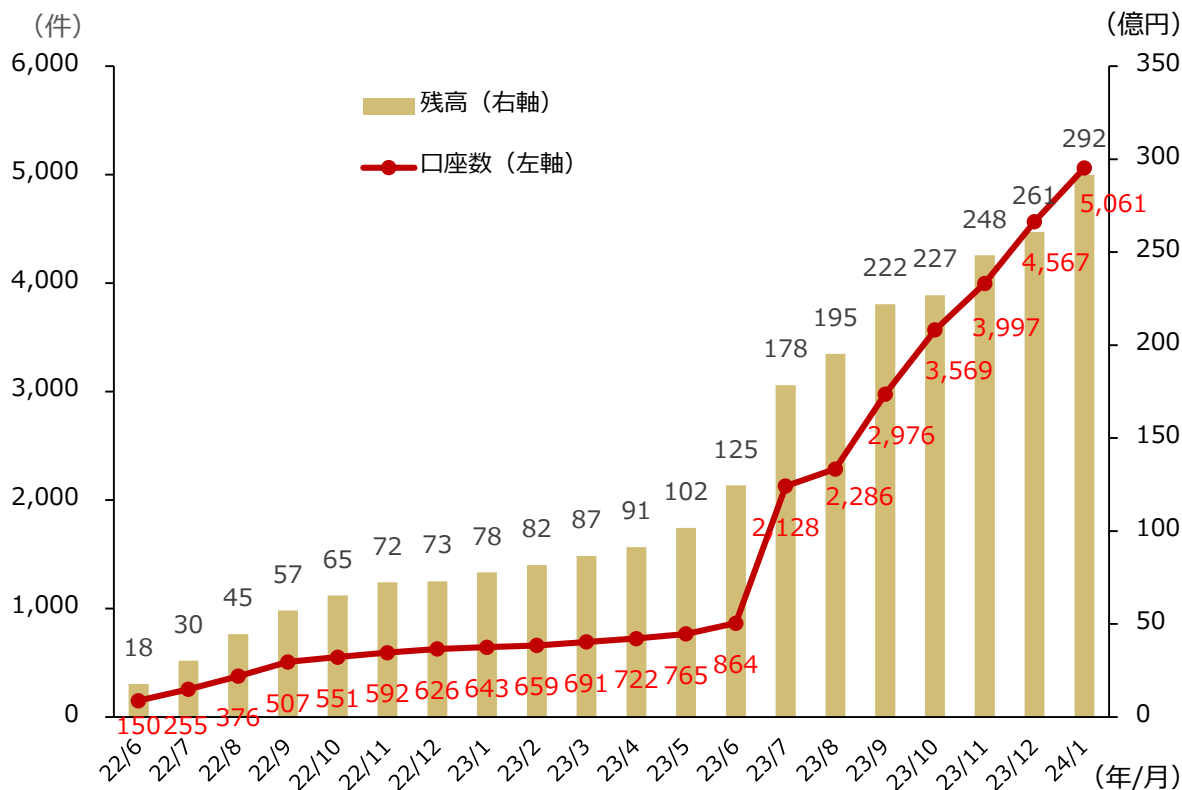
2024年1月から 『ドリコレNISA』 & 『ドリコレミニ』を追加



3. 準ベース資産：「いちばん星」

- 「準ベース資産」の中核商品である「いちよし・グローバル株式ファンド（いちばん星）」は、日本を含む世界の割安株や中小型株等を投資対象としたファンドです。地域（米国、欧州、日本および新興国）の配分については、いちよし証券が投資助言を行います。対面証券では珍しいノーロードの商品であるとともに信託報酬に実績報酬を取り入れたファンドであることが特徴です。
- 「いちばん星」はR&Iの定量投信レーティングの1年レーティングが最上位の「5」、みんかぶ投信レーティングにおいても最上位の「★5つ」と評価されています。

いちばん星 口座数・残高推移（2024年1月末）



NISAで「いちばん星」

いちよし・グローバル株式ファンド (愛称：いちばん星)

初回お申込金額 1万円から

通常初回お申込み単位1,000万円以上を、
NISA口座でのお買付を条件に1万円からご提供いたします！

対象商品

いちよし・グローバル株式ファンド(愛称:いちばん星)

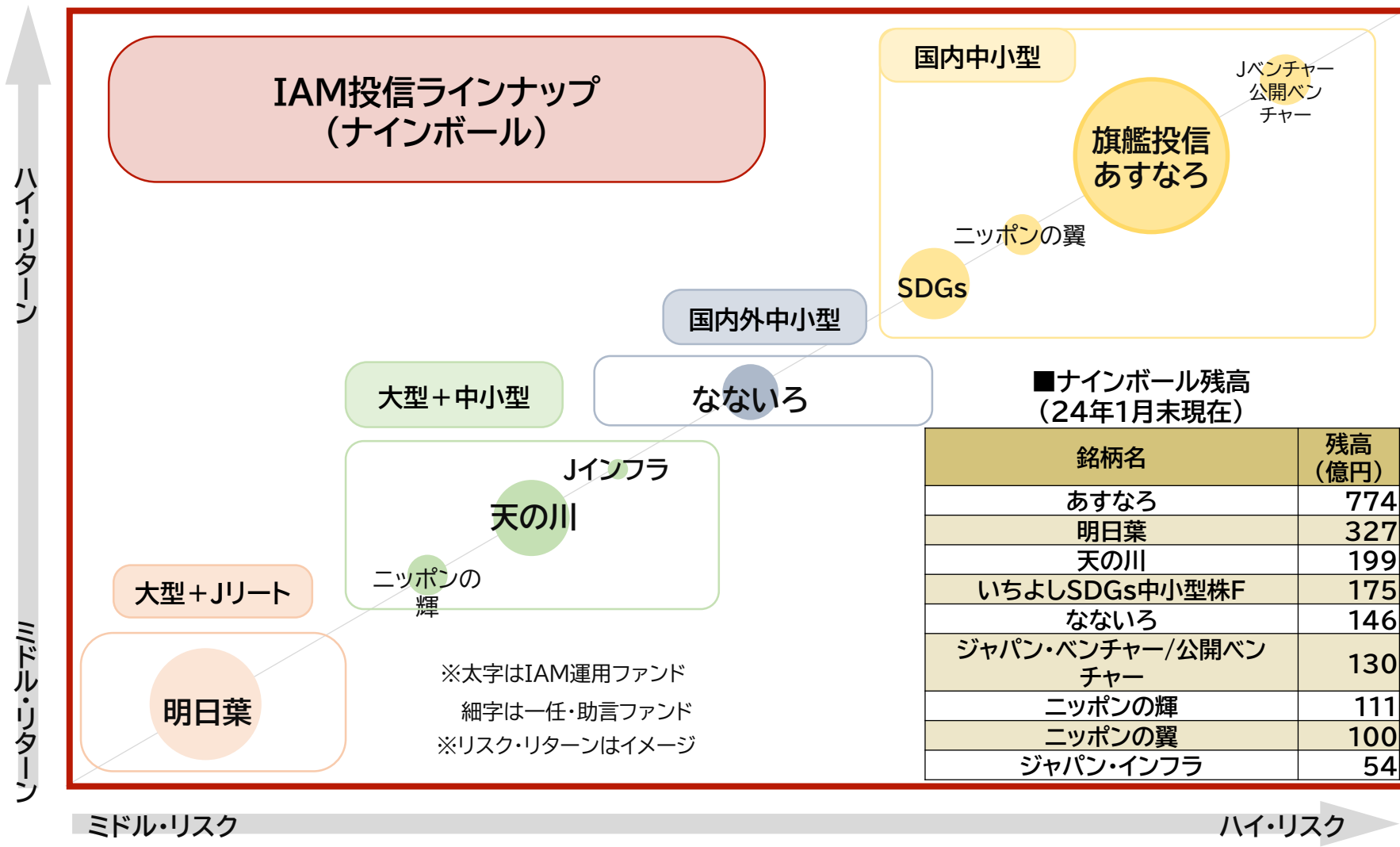
対象のお客様

当社でNISA口座を開設し、お取引いただいている全てのお客様

※詳しくは支店アドバイザーまでお問合せください

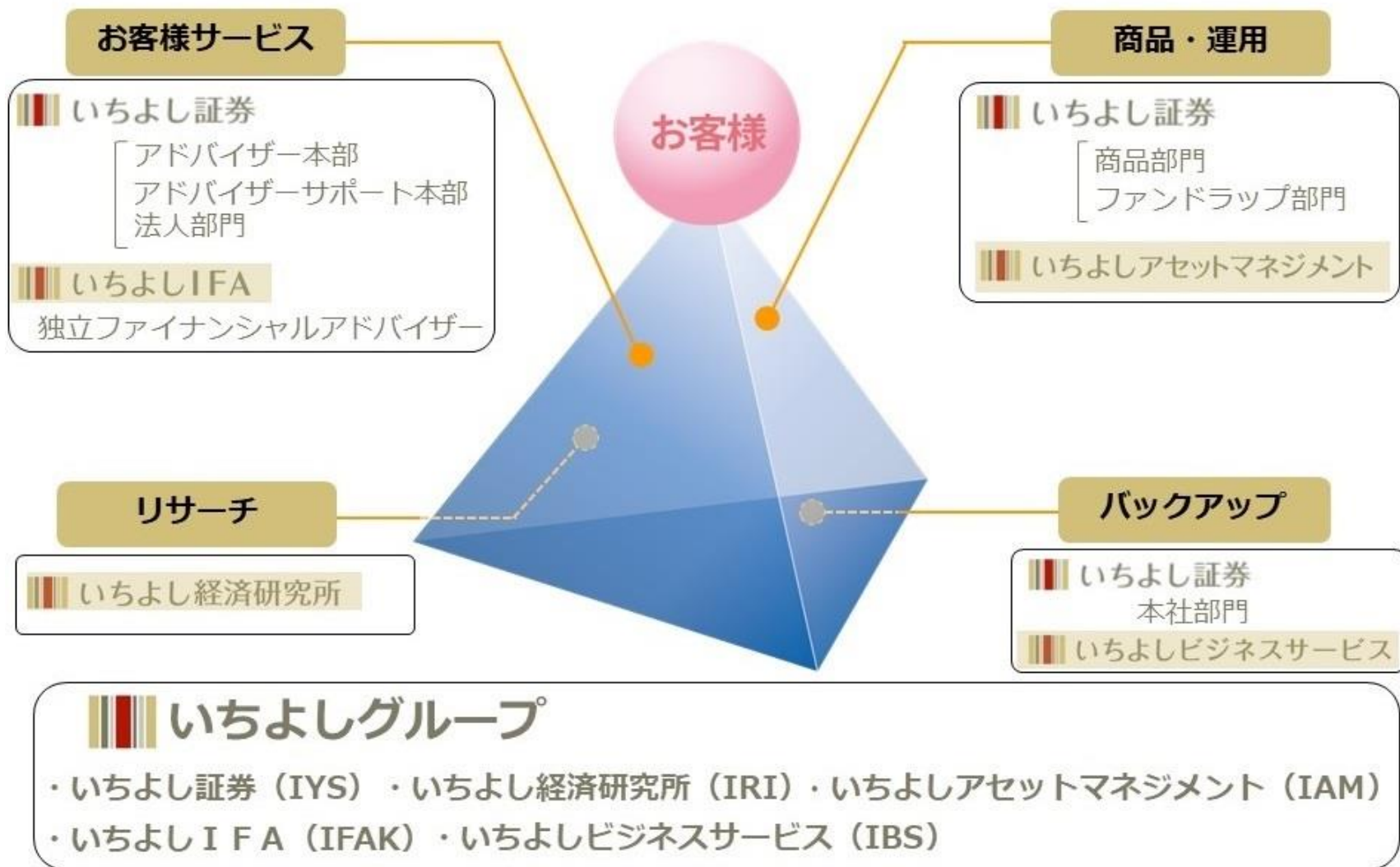
本資料は「いちよし証券」が当企業の概要をまとめることを目的に作成したご案内資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資信託の業績は加入有価証券等の価格や発行会社の信用状況の悪化、為替相場の変動等により、投資した金額を上回る損失を生じるおそれがあります。投資信託への投資にあたっては、購入前に「購入申込書」、基金前に「投資信託概要書」等を用意いただく場合があります。また、保有期間中に「保有期間報告書（信託報酬）」やその他の報告書が、信託財産より支払われます。各商品のリスクや手数料等費用に関しては、支店アドバイザーより十分な説明を 부탁드립니다。お申し込みにあたっては、「いちよし証券」よりお渡しする「投資信託説明書」締結時交付書等や投資信託の「投資信託説明書（交付目録）」の内容を必ずご確認ください。ご留意いただくべき事項は記載されています。相関に関するお問い合わせについてはお電話かメールかお申し込み窓口へご確認ください。

商号等/いちよし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第214号 加入協会/日本証券業協会、一般社団法人日本投資信託業協会
 2023年12月1日現在、NISA標準枠(AG151223X)



※IAM：いちよしアセットマネジメント

トライアングル・ピラミッド経営



いちよし経済研究所 (IRI)

中小型株部門アクセス比率ランキング

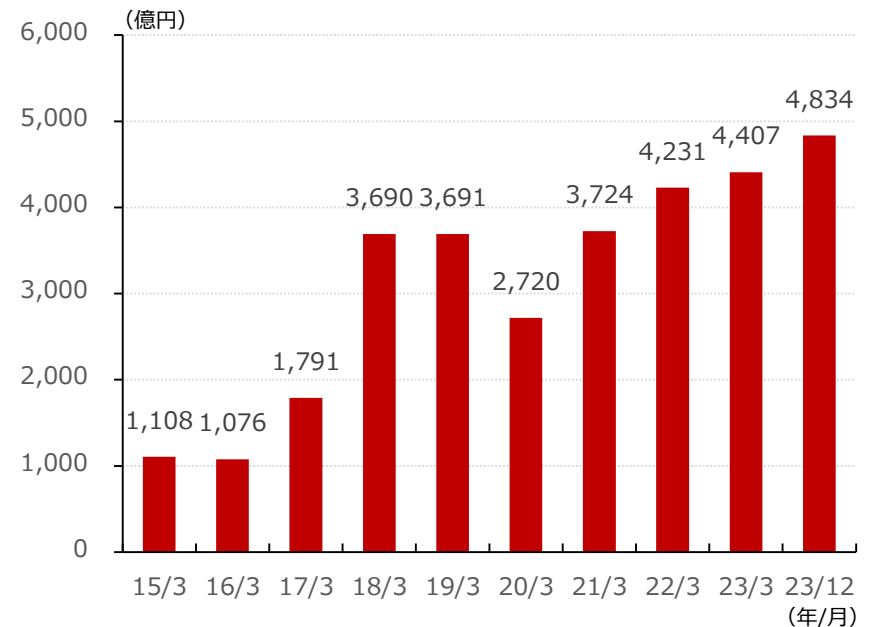
順位	証券会社名	アクセス比率
1	いちよし経済研究所	16.85%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	10.29%
3	SMBC日興証券	9.73%
4	みずほ証券	9.57%
5	野村證券	8.86%
6	大和証券グループ	8.11%
7	東海東京調査センター	7.38%
8	SBI証券	5.89%
9	クレディ・スイス証券	4.43%
10	モルガン・スタンレーMUFG証券	3.19%

機関投資家アクセス・シェア調査「2022年ベストリサーチハウス・ランキング」 出所:アイフィスジャパン

- IRIはいちよしグループのリサーチ部門として、日本の中小型成長企業に特化した調査を行っています。
- 2022年ベストリサーチハウス・ランキング、中小型株部門でトップ。旧新興市場部門から19年連続して首位。

いちよしアセットマネジメント (IAM)

運用資産残高の推移



- IAMは投資信託委託業務のほか、機関投資家、投資信託に対する投資一任・助言業務を展開する資産運用会社です。
- グループの中小型、新興成長企業の発掘・運用ノウハウを結集したアセットマネジメントビジネスを主力とし、お客様のニーズに合わせて、アセット・アロケーションを含めた幅広い運用商品の提供を目指しています。

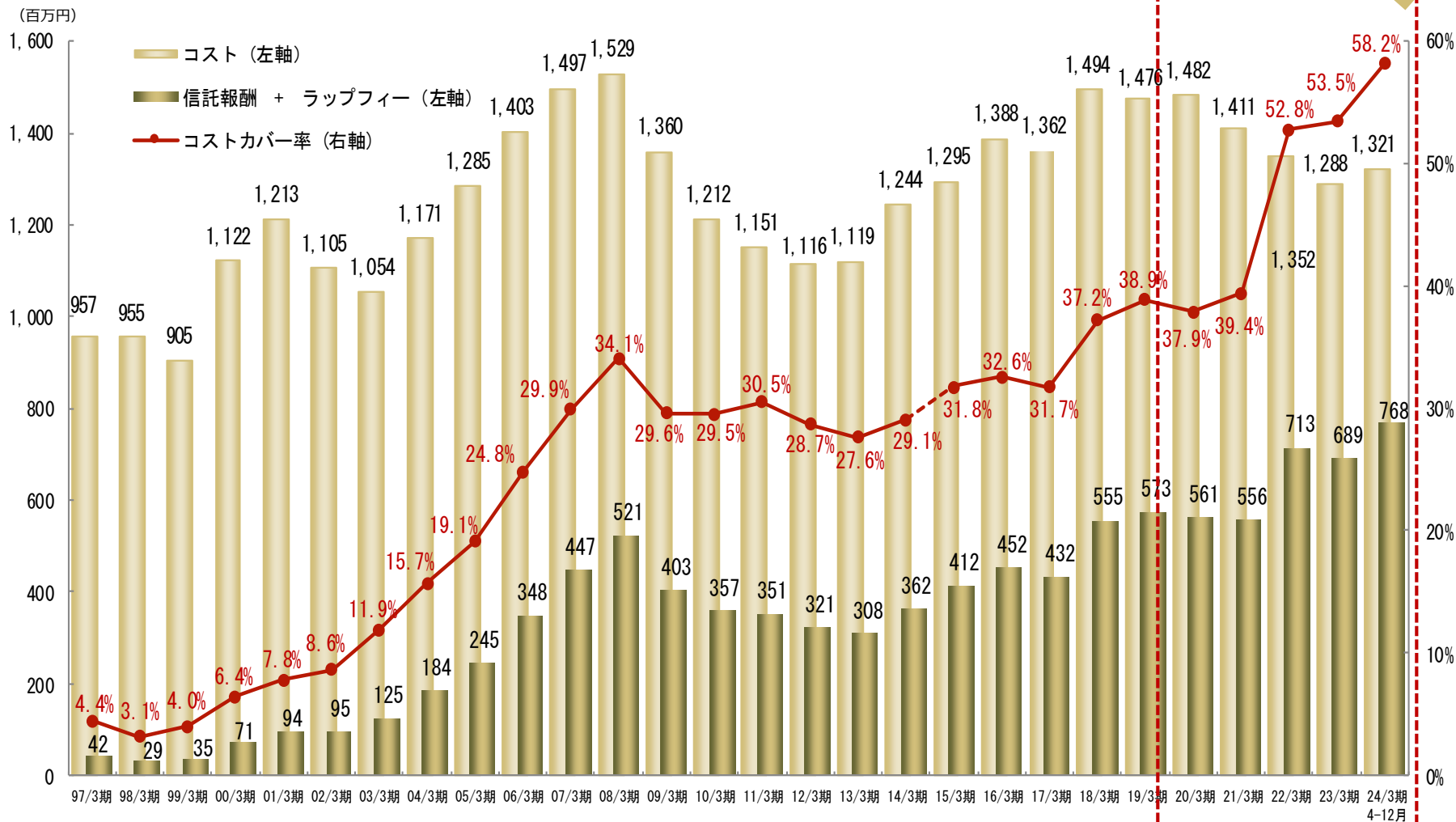
6. コストカバー率

信託報酬とコストカバー率の推移（月額平均）

26/3期末
70%

20年振りの「改革の断行」
(2019年10月～)

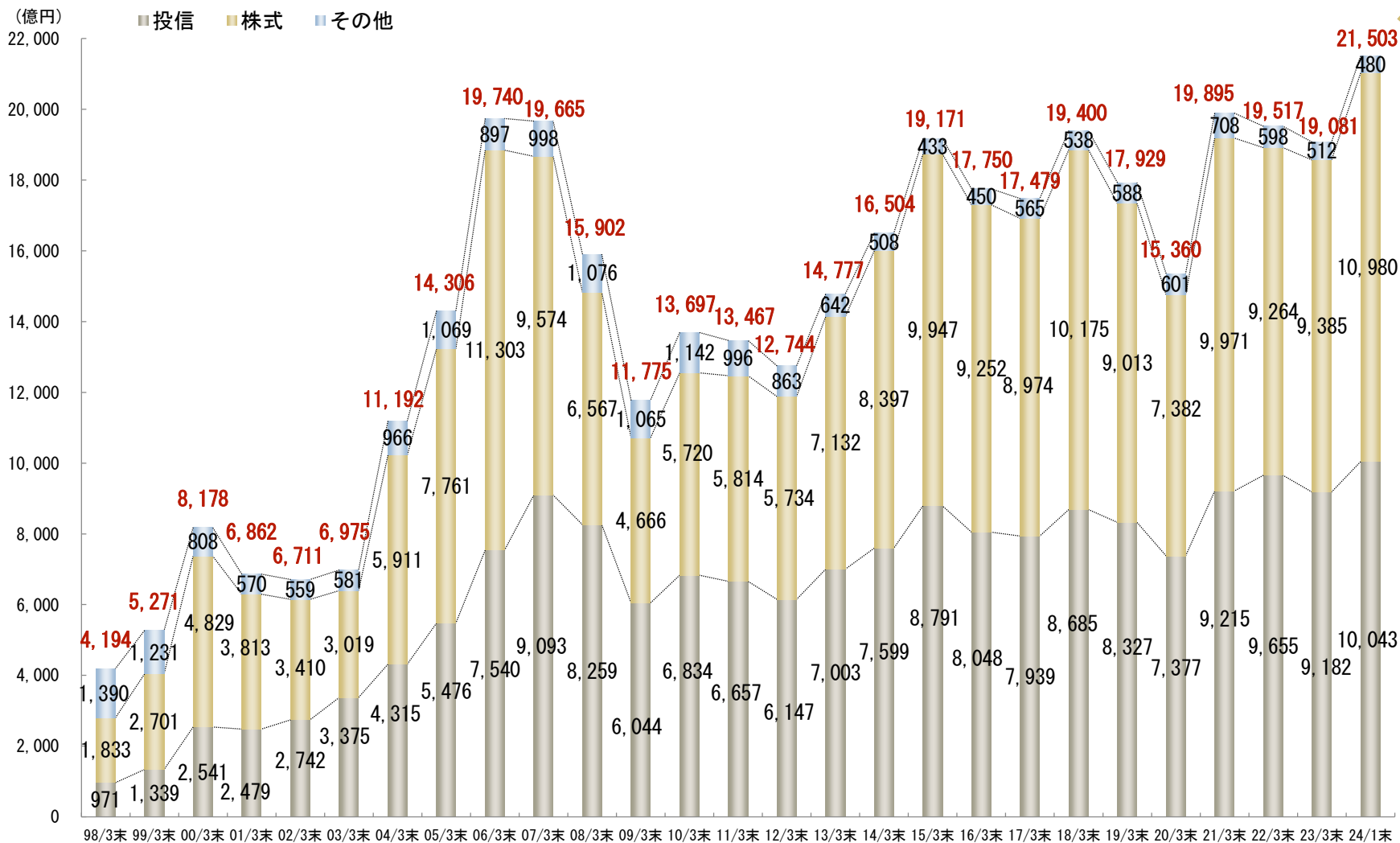
$$\text{※ コストカバー率} = \frac{\text{信託報酬} + \text{ラップフィー}}{\text{コスト (販売費・一般管理費)}} \times 100 (\%)$$



(注) 2015年3月期以降は連結ベース、それ以前は単体ベース

7. 預り資産の推移

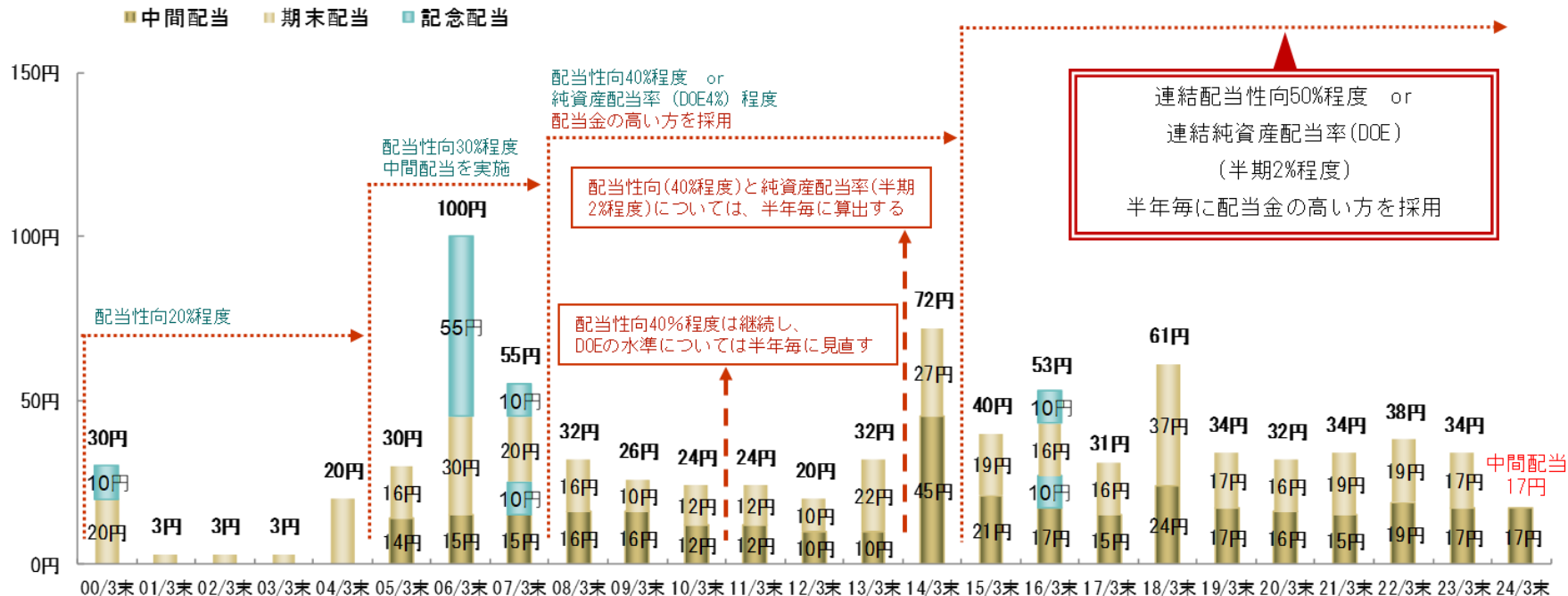
26/3期末
3兆円



- 当社は、株主還元を経営上の重要課題と捉えています。業績連動型の配当方針を基本とし、配当性向をベースとした配当を行っていますが、株主の皆様への適切な利益還元を継続して充実させていくことを目的として、純資産配当率（DOE）についても勘案して配当額を決定しています。

配当の状況

配当額・配当性向等の推移（1株当たり）



	自己株式の消却	平均単価	消却率
1998年9月～2004年1月	11,841,000株	265 円	20.2%
2008年1月～2008年3月	1,699,200株	1,032 円	3.5%
2008年11月～2009年1月	1,957,500株	673 円	4.2%
2019年6月	2,000,000株	871 円	4.5%
2022年5月	2,000,000株	645 円	4.7%
2023年8月	2,500,000株	644 円	6.2%

(参考)
2019年3月末発行済株式総数
44,431,386株

↓ 約15%消却

2023年9月末発行済株式総数
37,931,386株

合計 21,997,700株

合計 43.3% (単純合計値)



JCGIndex Surveyの連続性

JCGIndex調査は2002年から2017年まで16年間継続してきました。令和元年よりJCGRの独立を機にコーポレートガバナンス・コードやスチュワードシップ・コードを反映させ、調査内容を刷新し配点も大きく変更。連続性の観点から2017年までの調査を「第1期調査」、2019年以降の調査を「第2期調査」としています。

JCGIndexは以下のカテゴリー得点の合計として算出されます。

- カテゴリーⅠ 企業目標と経営者のリーダーシップ
- カテゴリーⅡ コーポレートガバナンスの体制
- カテゴリーⅢ 最高経営責任者の経営執行体制
- カテゴリーⅣ 株主等とのコミュニケーションと透明性



※詳しくはJCGR日本コーポレートガバナンス研究所HPをご参照ください

順位	JCG Index	企業名	順位	JCG Index	企業名
1	85.9	ソニーグループ株式会社	20	69.4	株式会社アドバンテスト
2	84.9	株式会社荏原製作所	20	69.4	関西電力株式会社
3	82.0	双日株式会社	23	68.8	株式会社JVCケンウッド
4	81.6	エーザイ株式会社	24	68.4	クオールホールディングス株式会社
5	78.9	株式会社りそなホールディングス	25	68.1	(1社)*
6	78.8	日本板硝子株式会社	26	67.2	大東建託株式会社
7	77.9	オムロン株式会社	27	67.1	戸田建設株式会社
8	76.6	いちよし証券株式会社	28	66.3	株式会社東芝
9	76.0	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	29	66.2	ユニ・チャーム株式会社
10	74.9	日本精工株式会社	30	65.7	株式会社オートバックスセブン
10	74.9	泉州電業株式会社	30	65.7	株式会社明電舎
12	73.9	横河電機株式会社	32	65.4	パナソニック ホールディングス株式会社
13	73.6	テルモ株式会社	32	65.4	HOYA株式会社
14	73.3	株式会社電通グループ	34	65.3	遼澤倉庫株式会社
14	73.3	スマグコーポレーション株式会社	35	65.1	株式会社メディアドゥ
16	71.5	(1社)*	35	65.1	マニー株式会社
17	71.2	明治ホールディングス株式会社	35	65.1	東京エレクトロン株式会社
18	69.9	株式会社ダイセキ	38	65.0	株式会社ローソン
18	69.9	(1社)*	39	64.7	花王株式会社
20	69.4	(1社)*	40	64.7	株式会社レアジョブ

※()内は公表を希望しない会社数

出所：一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所
ランキングデータ：2022年12月1日公表

本資料は一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所(JCGR)によるJCGIndex調査の結果を、同研究所からの許諾を得て複製し作成したものです。本資料は情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって、記載されている個別の企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

商号等/いちよし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号 加入協会/日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
2022年12月いちよし証券作成(AC061222X)

<JCG Index とは>

JCG Index とは、日本コーポレートガバナンス研究所 (JCGR) が東京証券取引所第一部上場企業にガバナンスおよびマネジメントに関する種々の質問を投げかけ、企業から返ってきた回答に点数を付け、それを合計した点数を100点満点の数値に変換した指数です。

<JCG Indexサーベイの連続性>

JCG Index調査は2002年から2017年まで16年継続した後、令和元年よりJCGRの独立を機にコーポレートガバナンス・コードやスチュワードシップ・コードを反映させ、調査内容を刷新し配点も大きく変更しました。連続性の観点から2017年までの調査を「第1期調査」、2019年以降の調査を「第2期調査」としています。

JCG Indexは、以下のカテゴリー得点の合計として算出されます

- カテゴリーⅠ 企業目標と経営者のリーダーシップ
- カテゴリーⅡ コーポレートガバナンスの体制
- カテゴリーⅢ 最高経営責任者の経営執行体制
- カテゴリーⅣ 株主等とのコミュニケーションと透明性

- 当社では、学生を対象に金融教育や将来のキャリアを考えるための教育に取り組んでおります。その一環として、東京を修学旅行先としている中学校のカリキュラムに当社の教育プログラムを組み込み、修学旅行生の受け入れを実施しております。

< 当社オリジナルのテキスト >



※ 金融教育プログラムの研修風景

(2023年～24年1月実績)

- 福井県立高志中学校
- 三重県桑名市立陵成中学校
- 富山県立呉羽高等学校
- 千葉県佐倉市立志津中学校
- 岡山県就実高等学校
- 千葉県木更津市立富来田中学校
- 福岡県立宇美商業高等学校
- 静岡県南の丘学園袋井市立袋井南中学校
- 長野県飯田市立飯田東中学校
- 長崎県立大村高等学校
- 埼玉県春日部市立春日部南中学校

社会貢献活動の一例

当社は20年来、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。



校舎建設プロジェクト

途上国の子どもたちの学習環境を改善するために、校舎建設プロジェクトへの寄付を通じて支援。



いちよしマングローブの森プロジェクト

新興国の温暖化被害の対策となる天然の堤防“マングローブ”の植林・保全活動に寄付を通じて支援。



人道医療支援プロジェクト

悲惨な環境下で苦しむ人々に、ポリオワクチンやマラリアの治療薬などのごく基礎的な医療の提供、保健機関の再構築、現地スタッフの育成等の活動に寄付を通じて支援。



いちよし盲導犬育成プロジェクト

盲導犬の育成と視覚障がいリハビリテーション事業を基に視覚障がい者の社会参加を促進し、視覚障がい者福祉の増進に寄与する活動に寄付を通じて支援。

東アジア中心に
8ヶ国
12校建設
(1996年～2023年3月現在)

累計植林数
約455,000本
(2009年～2023年3月現在)
※2015年度から[気候変動被害を受ける
コミュニティ支援プロジェクト]も同時進行中

小児用
予防接種ワクチン
約1,017,000人相当
(2009年～2023年3月現在)

盲導犬
7頭がデビュー
(2005年～2023年3月現在)

提供番組のご案内

「暦に集う」

毎週日曜よる8時54分～
※放送時間は変更になる場合があります



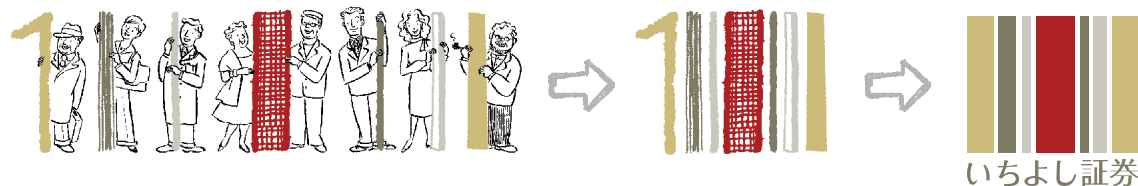
日本には四季がある、折々の出会いもある。

日本各地の祭りや行事に集まる人々、四季の花々、季節の生き物たちなど、心温まる季節感を全国各地に追って紹介します。味わいのある集いをお楽しみ下さい。

語り/三田寛子 企画協力/CFA 制作/BS朝日

ご清聴ありがとうございました。

一人、一人の、『いちばん』でありたい。



いちよし証券株式会社 広報室
<https://www.ichiyoshi.co.jp/>

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2024年1月末現在のデータに基づき作成しております。

商号等 : いちよし証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第24号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会